



- アーウィークくまもと開催報告
- 持続可能な消費ネットワーク グリチョ新しい品目  
フェアトレードを推進します
- 助成金説明会開催報告
- 韓国忠清南道 忠南協力委員会との交流
- 担い手育成事業成果報告

## Earth Week Kumamoto 2018

### 熊本発・日本初のEVバスが未来をひらく

持続可能なまちづくりとバス・電車・自転車の利用を訴え続けてきたアースウィークくまもと。29回目となる今年、熊本大学、イズミ車体、産交バス、熊本県が共同で開発した「熊本発・日本初の排気ガスゼロのEV(電気)バス」の普及に向けた課題を様々な角度から話し合う懇談会の連続開催を呼びかけました。

4/18には恒例のノーマイカーデーパレードをストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議と共催で実施。田島副知事や大西市長とともに約150名が電車通りをパレード。解散式後、市役所前からEVバスに乗り込み出勤する人々をくまモンとともに見送りました。

翌19日は、「熊本から始まる電気バスが未来をひらく懇談会パート1」をバリアフリーデザイン研究会と共催で開催。県環境立県推進課は、温室効果ガス排出量の21%を占める交通部門からの排出削減と大気汚染対策としてEVバスの普及に向けて関係機関と連

携していくとし、2月から路線バスでの運行実証実験に取り組む産交バスの小形営業部長は、様々なデータ収集や課題、運転手や乗客のアンケート結果などを紹介。脱炭素は世界の流れであり、公共交通事業者としてEVバスの普及に協力していくと明確に話されました。

会場からは、路線バスへのEVバス導入を支援し、熊本を日本一空気と水がきれいなまちにしたいと期待の声がかれました。また、第2回懇談会は5月17日のRIST研究会にEWくまもとが協賛し開催され、開発者の松田教授から環境省のプロジェクトとして「横浜EVバス実証実験」が始まることも紹介されました。

報告者：アースウィーク  
実行委員会副委員長 原育美





## ぐりちょ (Green & Ethical Choices) に 新品目が掲載されました!

“ぐりちょ”は、環境、人権、社会、未来を大切にしたい商品を選ぶ情報サイトです。エシカルな商品やグリーンな商品、どんな商品があるのか、どこで売っているのかが見つかります!

2016年度は、ポテトチップス、コーヒー豆、チョコレート、卵、トイレットペーパー、シャンプー、タオルの7品目でしたが、2017年度には新たに食パン、醤油、スニーカー、紅茶、緑茶、ハンバーガー、豆腐、アウターが加わって、15品目になりました。

くまもと未来ネットでは、運営団体である「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」に参画しており、「こんな商品もあるよ!」とか、「熊本ではここで買えるよ!」など、皆さんからの情報提供をお待ちしています。(サイト内に、直接情報提供できるフォームがあります)



ぐりちょ

※より詳しいポイント・視点などを知りたい方は、“ぐりちょ”で検索して下さい。

### (例)緑茶の選定基準

- 茶の栽培方法が生態系に配慮している
  - ・自然農法、茶草場農法で作られている
- 有機農法で作られている
  - ・第三者認証の有機栽培マークがついている
  - ・有機栽培認証マークはついていないが同等の栽培方法であることが説明されている



ポテトチップス  
トイレットペーパー  
パンなどもあります。



理事/宮瀬美津子



## くまもと未来ネットはフェアトレードを推進していきます!

熊本市はアジア初、そして、世界で1000番目のフェアトレードタウンに認定されています。この認定取得、そしてフェアトレードの普及・啓発に取り組んできたのが「フェアトレードシティくまもと推進委員会」です。

そしてこの度、その活動をくまもと未来ネットが引き継ぐこととなりました。代表の明石氏には長年、くまもと未来ネットを会員としてサポートいただいております。

フェアトレードという言葉はこの推進委員会の成果もあり、熊本では非常に浸透してきています。今後は、さらにそのフェアトレードが日常になじんだものとなるよう、“生活への落とし込み”のためのアクションと、グローバルなフェアトレードの推進をはかっていきたいと考えております。



▲フェアトレード推進委員のみなさんと

### ☆明石祥子さんからのメッセージ

私たち推進委員会は、掲げた目標を達成しました

- 1.アジアにフェアトレードタウンを作ること(2011年)
- 2.フェアトレードタウン国際会議開催(2014年)
- 3.次のフェアトレード認定都市を応援すること(2011年～)
- 4.認知度を上げること(2015年、40%)
- 5.熊本の被災農家さんを応援するためのフェアトレードとコラボレーションした商品の販売(2017年)

また、二度にわたる災害(2016年地震、2018年火災)で、大きなダメージを受け、なかなか自力では立ち上がれない日々を過ごしていました。そんな時、未来ネットの若き林代表が、融合して志を共にと自ら名乗りを上げてくださいました。

10年ほど前、中学校全校生徒へのフェアトレードの授業で、将来の夢の問いかけに、「世の中を良くしたい」と、答えたのが当時大学生だった林代表です。

とても印象深いシーンでした。

熊本のフェアトレードの活動をあきらめずに活動してくださった同志の方々が集まり、お互いの団体にとって今後の活動が、次の未来へ希望をつなぐことができるように、話し合いをしました。フェアトレードをベースに幅広い活動につなげていきます。

## 助成金勉強会を開催しました！

3月28日、民進党本部にて「2018年度NPO関連予算ヒアリング」が開催されました。私も未来ネットを代表して参加。新年度の政府予算のうちNPOに関連する予算について、各府省庁の担当者から直接説明を受けました。開催時期が例年より1ヶ月ほど遅かったこともあり、既に公募が終わっているものもありましたが、こんな助成金あったんだ…と”知る人ぞ知る”助成金情報が盛り沢山。そこで、会員様にも少しでもこれらの情報を知って欲しいと勉強会を緊急開催するに至りました。

勉強会当日は私からの一方的な報告ではなく、地域のNPO仲間に関心ある情報を持ち帰りたいという天草からお越しの参加者様、そして、街づくり、特に国際交流に役立てたいという南関町からの参加者様らと非常に活発な意見交換ができました。

助成金は目的ではなく、手段です。やりたいこと、やるべきことがあってはじめてその意味が発揮されるものではありませんが、そもそもどのような助成金があるのかを知っておくことは重要です。



民進党 NPO予算 2018

検索

当日の配布資料をダウンロードすることもできます。

未来ネットでは会員様の助成金獲得のサポートも行っております。  
気になる方、お気軽にご連絡ください。

代表理事 兼 事務局長 / 林信吾

## 熊本県との友好都市、韓国 忠清南道より「忠南協力委員会」の一団が来熊されました！

くまもと未来ネットと忠南協力委員会とは10年以上前から交流を続けてきましたが、忠清南道ではホテルやツルを守る活動から再生可能エネルギーの推進、そしてそれらの政策提言まで地道に、そしてしっかりと積み上げ型の活動をされているのが印象的でした。

また、忠清南道は15の地域に分かれていますが、それぞれの地域が連携した中で上記のような活動を推進されており、活動の一体感を感じられるものでした。

日本と比較して地震等のリスクが低く、着実にその活動を積み上げている忠清南道。水俣病をはじめとする負の遺産、そして熊本地震、水害等の天災など強烈かつ特別な経験をして経験値の高い熊本。一概に比較はできませんが、お互いの成功・失敗事例を分野毎にしっかりと整理・分析し、お互いの活動に取り入れ、そのスピードと成果を加速させていきます。



▲県庁での視察の様子

## 地域の担い手育成事業

2017年度は5団体を伴走支援！

2017年度の個別コンサルティングでは、ミッション・ビジョンの明確化から、ロジックモデルへの落とし込みまで実施し、ミッション・ビジョンと事業との結びつきの確認や、新たな事業の創出までを手がけることができました。

また、広く、サードセクターの経営力向上やその意識に対する啓蒙活動を実現。個別コンサルティング5団体への、伴走型で着実な事業実現(ミッション達成)に向けた支援を行いました。

今回も、藤岡喜美子さん(一般社団法人日本サードセクター経営者協会)をコンサルティング講師に迎えての開催となりました。過去3年に行ったコンサルティング団体に対してもフォローのコンサルティングを行いました。



▲成果報告会の様子



## SDGs学習会開催中です!

SDGsをキーワードに熊本で先進的に活動されている団体や個人の方からお話しを伺っています。秋くらいまで月に一度のペースで実施しておりますので、ぜひご参加ください。

### 【第7回SDGs学習会】

#### 地域課題・社会問題解決型ビジネスとは

～地域で生きる、地域に活きる 事業づくり～

地域課題や社会問題を解決する方法をビジネスとして解決していくことを社会起業(企業)と呼びます。一見、企業活動において重要な収益性と相反する地域課題や社会問題。これらを解決しながらビジネスとして構築していくにはどのような視点が必要なのか。一部上場の大手経営コンサルティング会社で営利企業向けコンサルティングの経験を積み、現在は社会起業(事業)創出にも尽力する当団体代表からそのノウハウをお伝えいたします。

また、熊本発・日本初の“保育園レストラン業態”を展開する株式会社Sakurakiの葛西代表にもソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの実例をお話しいただきます。

#### 【講師】

林 信吾(NPO法人くまもと未来ネット代表理事兼事務局長)  
葛西 江美(株式会社Sakuraki 代表取締役)

日時:2018年6月25日(月)19:00~20:45

場所:SAKURAKI no ie(熊本市中央区帯山4-13-18)

<https://sakurakinioie.themedia.jp/>

駐車スペースはありますが台数に限りがあります。

#### 参加費:

未来ネット会員:ドリンク代のみ

未来ネット非会員:1,000円(ドリンク代別)

### 【第8回SDGs学習会】

#### こどもから高齢者までの居場所づくり(里づくり)

～共に作り共に食べ共に過ごす～

子供の貧困問題解決、そして、居場所づくりのために全国的に大きな広がりを見せる「子ども食堂」。この活動の意義をさらに昇華させた「里づくり」活動を展開するのが逢桜の里です。

「共食」を通して子どもだけでなく、後期高齢者問題までを「里」という優しいコミュニティで包み込みながら解決していく。また、その先にはシングルマザーの雇用(就業支援)も見据えています。

個人個人、各家庭に依存してしまう“理想的な家庭”を提唱するのではなく、皆で力を合わせて“理想的な里”を作っていく逢桜の里の活動は社会問題を縁の下から包括的に支える活動になっていくこと間違いなしです。

#### 【講師】西原 明優、柿木恵美(逢桜の里)

<http://kjinbee.wixsite.com/airanosato>

日時:2018年7月17日(火)19:00~20:45

場所:あいぼーと(熊本市市民活動支援センター)

参加費:無料

※SDGs学習会は、ジョンソンエンドジョンソン  
社会貢献委員会より助成を受けて開催しています



## ご支援・ご協力ありがとうございます

(2018.1~2018.5)

#### 【正会員】

(個人) 今村亨、徳永達郎 (法人) 白井工業(株)

#### 【賛助会員】

(個人) 岩下夏枝、内村直子、中坊真、田北茂樹、竹熊千榮子、飛岡久弥、備後由喜江、立山ちづ子  
(法人・団体) 敷島印刷株式会社、社会福祉法人仁風会

【維持会員】宇野昭彦、永谷誠一、原育美、井上智、宮瀬美津子、九州太陽電池株式会社

※敬称は略させていただきます。

寄付・会費等のお支払は以下口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行	味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人くまもと未来ネット
九州労働金庫	熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人くまもと未来ネット

#### 【発行】



NPO法人  
くまもと未来ネット  
Kumamoto Mirai Net

〒862-0973 熊本市中央区大江本町6-24

TEL/FAX:096-362-3776 E-mail:home@kumamoto-mirai.com

☆最新情報はFacebookをご覧ください

<https://www.facebook.com/kankuma1994/>